

今年も実りの季節がやって来ました。
おかげさまで3回目のピオーネの収穫です。
冬は自然薯、夏はブルーベリーの初収穫と
いよいよ忙しくなりました。
今年のあらき農園の様子をご覧ください。

ブルーベリー園にて。向こう側はぶどう園(8月)

美味しそうに色づいたピオーネ



日焼け完全防備で摘粒(6月)

今年の冬は例年になく雪が多く、15センチ以上も積もる日が何回かありました。ぶどう園では、上部に防鳥ネットを張っているのですが、ネットに積もった雪の重みでぶどう棚の

変形や番線が切れる被害もあり、雪が積もるとぶどう園にかけつけ、雪下ろしをしていました。町内のぶどう園では棚が倒壊した所もあり、改めて雪のこわさを実感しました。

今年は春先は気温が低めで、6~7月は空梅雨、夏も雨が少なくて暑い日が続きました。水やりを忘れないように気をつかいましたが順調に育ち色づきも良いようです。予定より早く8月末から収穫を迎えることができました。



袋掛け(7月)

ブルーベリーの初収穫

ぶどうの仕事が一段落した7月中旬からブルーベリーの初収穫を始めました。植えた約250本のうち、およそ3分の一に実をつけ、7月にはハイブッシュ系を、8月にはラビットアイ系を収穫。一斉に実が熟さないで、早朝熟した実を一粒一粒、手で摘んでいくという地味な作業です。



ブルーベリー'ティフブルー'(8月)

大変なのは完熟の見分けかた。濃く色づいていても酸味が強いものもあり、摘む時期を判断するのが難しいです。無農薬なのでそのまま食べることができ、時々甘味を確かめながら摘んだりしています。



今年は収穫量が少なかったため、小さな100gパックにつめて近くの道の駅へ少しずつ出荷しました。目に良いフルーツということと、ラベルに入れた娘の描いたブルーベリーの絵が良かったのか? 予想以上に好評で、完売が続き、出荷するのが楽しくなりました。

てんやわんやの自然薯栽培

昨年初めて挑戦した自然薯づくり。小ぶりながらも順調に収穫できたので、今年は畑を別に借り400本を植えました。栽培方法も、昨年と同じように塩ビパイプを埋設したもの以外に、波板を使っ



自然薯の花(8月)

たり、袋状の栽培容器を使ったりと、いろいろ試しています。種イモ植付け後、順調に芽が出たのはわずか50~60本。待てど暮せど芽が出ないので、1本ずつ掘り起こしてみると…ガーン、ショック! 種イモがほとんど腐っていました。こんなことで今年の栽培はほとんど諦めていたのですが、自然薯生産組合長の葛原さんから、ご自分の予備の種イモや、切りイモから芽出しをした種イモを譲っていただきました。このご厚意のおかげで300本以上を植替えることができ、今では青々とした葉を茂らせ順調に育っています。



昨年に比べて手間もずいぶんかかりましたが、自然の厳しさを知りいい機会になりました。

自然薯畑(8月)

ト

ピ

ッ

ク

フ